



卒業おめでとう！ ～第38回卒業式挙行～



3月16日、吉野東中学校第38回卒業式が挙行され、4学級155名の3年生が卒業していきました。今回の卒業式も昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、来賓もお一人、在校生も代表のみの参加で、時間を短縮しての開催となりました。

在校生代表の唐仁原花奈さんが、「先輩方への感謝の気持ちを胸に、私たちが成長し続けていきたいと思います。」と感謝の気持ちを伝え、「これからそれぞれの道に歩み出される先輩方、いつまでも私たちの目標であってください。」と送る言葉を述べました。

そして、卒業生代表の子日咲乃さんが、「自分たちで行動する姿に頼もしさを感じました。皆さんが仲間と協力していけば、きっと充実した学校生活を実現できると思います。」と後輩にエールを送り、家族に向けて「私たちをいつもそばで温かく見守り、支え、励ましてくれたこと、一生忘れません。」と感謝の言葉を述べました。これからも大切な仲間たちとしっかり支え合いながら、精一杯の努力で自分を伸ばし、幸せな人生を送ってもらいたいと願っています。

進級する喜びと自覚を！

令和2年度もいよいよ終わりを迎えます。今年度は1年間まるまる新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けてしまいましたが、どんな状況であっても今の学年を終え、進級し、2年生、3年生になります。1つずつ先輩になるんだという喜びを味わうと共に、自覚をもってほしいと思います。

この1年間で、皆さんは今までの自分よりも精神的にも大きく成長し、広く深く考えられるようになってはいるはずです。考えが深まると行動が変わります。自分の感情をコントロールできずに人につらく当たったり、いじめたり、からかったりしている人がいるとしたら、お互いが気持ちよく関わるためにはどのようにしたらいいかを考え、行動できるようにしましょう。

4月には新入生が入学してきます。6年間の小学校生活を終え、中学校という未知の世界に進んできます。自分たちがそうだったように多くの不安を抱えていることでしょう。先輩としてどう接すればいいか良く考えて行動し、みんなが楽しく過ごせる学校を自分たちで作っていきましょう。

お世話になりました！…転出・退職する先生方です

令和3年度鹿児島県教職員人事異動により、下記の先生方が他校へ転勤あるいは退職となります。吉野東中学校での楽しかった思い出を胸に旅立っていきます。それぞれの先生方にとって、吉野東中での生徒や保護者、地域の皆さんに出会い、楽しくがんばった経験が、自分の誇り、そして良い思い出となり、次の職場でがんばる原動力となっています。転退職者一同から、「本当に本当にお世話になりました。これまでの御協力に感謝申し上げます。生徒と保護者の皆様の、ますますの御健康と御活躍をお祈りします。ありがとうございました！」

	職名等	氏名	教科等	在職年数	新任校・職名等
1	校長	吉永敬一郎	—	3年	定年退職
2	教諭	有村美由紀	特別支援	2年	定年退職 再任用で鹿児島市立吉野中学校教諭
3	教諭	酒匂慎一郎	国語科	6年	鹿児島市立松元中学校教諭
4	教諭	芝原寛	理科	7年	十島村立悪石島中学校教頭
5	教諭	中村理歩	音楽科	4年	霧島市立国分中学校教諭
6	教諭	松嶋智代	保健体育科	7年	曾於市立末吉中学校教諭
7	教諭	松元愛実	社会科	1年	鹿児島市立和田中学校教諭
8	教諭	新村秀男	数学科	2年	期限満了につき退職
9	教諭	市田廣	保健体育科	1年	期限満了につき退職
10	教諭	川井田愛梨	英語科	1年	期限満了につき退職
11	講師	田代あさ子	家庭科	3年	期限満了につき退職

新年度から「性別で分けない名簿」を使用します

本校では、新年度から「性別で分けない名簿」を使用します。人権上の新たな課題として、きめ細やかな配慮が求められており、それに対応するために実施します。性的マイノリティに該当する生徒の有無にかかわらず実施するものです。健康診断など、性別で分けたほうが良い状況がある場合も発生すると思います。具体的な事例一つ一つを、性別で分ける必要があるかどうかを学校全体で考えることを通して職員や生徒の理解を深め、よりよい環境になっていくことをめざしながら実施していきます。

クラスマッチを楽しみました！

3年生に続き、1, 2年生もクラスマッチを楽しみました。今のクラスメイトとの最後の楽しい思い出ができました。これまでの仲間を大切にしながら、新学期にはそれぞれ新たな学級で新たな楽しい仲間をつくり、充実した学校生活を過ごしてください。



これからも新型コロナウイルス感染拡大の取り組みをしっかりと続けましょう！

鹿児島では最近では新型コロナウイルスの発症者がゼロという日もありますが、感染拡大が完全になくなったとは言いきれません。少し油断すると再びたいへんな状況になる恐れがあります。これまでみんなで感染拡大防止に努めてきた努力が無駄にならないように、これからも感染防止の取り組みをしっかりと続けましょう。とにかく3密を避け、飛沫や手などの接触等による口や目からのウイルスの侵入を意識して防ぐことが大切です。以前のような生活に戻るのはまだまだ先のこともかもしれませんが、そうなる日が1日でも早く来るように、みんなで協力しましょう。